

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応
1 生みやすく、育てやすいまちづくり						
1 母子保健の充実						
		1	妊婦一般健康診査	健康づくり推進課	妊娠中から子育ての支援についての情報や交流などを行って、利用しやすい環境を作ってほしい	妊娠届出時やすくすく赤ちゃんセミナー、助産師訪問等を通じて情報提供を行っていく。妊婦同士の交流の機会としては、すくすく赤ちゃんセミナーの利用を周知する。
		2	妊産婦新生児訪問指導事業、こんにちは赤ちゃん事業	健康づくり推進課	助産師さんの派遣回数を増やしてほしい。	助産師による訪問指導は、妊娠中1回、産後1回の派遣を標準としているが、母体の状態や新生児の体重増加等、妊産婦の不安の軽減を図るため再訪問を実施する場合もある。この他、地区担当の保健師や栄養士、子育てSOS支援相談員による継続的な支援も可能である。
		3	乳幼児健診事業	健康づくり推進課	乳幼児健診の会場(高田)が少し遠い。大雪の時は会場まで行くのに大変です。	13区においても乳幼児健診を行っている。お住まいの地域から近い区会場での受診も可能なので、その旨を周知する。
	健診を全体で何回かに分けて実施してほしい。				・乳幼児健診は、上越地域の医師・歯科医師に協力をいただき実施している。医師の確保が困難な状況でもあり、現状維持としたい。	
	健診や予防接種など、平日ではなく土日に対応してもらえると助かります。(平日のみだと、親が仕事を休まないといけない為)				・予防接種は集団接種の時代もあったが、かかりつけ医による個別接種は健康被害等の事故防止に有利であることから、現在は個別接種が原則となっているため、現状維持としたい。	
	健診の時間を午前中に変えてほしい(午後では、子供がお昼寝時間になる為)				・乳幼児健診は、上越地域の医師・歯科医師に協力をいただき実施している。一部、歯科医師の協力が得られ、歯科健診を午前中に実施している区会場もあり、午前中の開催については今後検討が必要な事項ではあるが、医師・歯科医師の協力が不可欠であるため、現状維持としたい。	
	1歳健診で市の方(栄養士さん)などのお話を聞くと、保育士さんなどが子供を見てくれると助かる。				乳幼児健診での集団学習時には、保護者が集中して話を聞くことができるよう、スタッフがお子さんの見守りなどを行っている。	
	3か月健診などの時でも良いので、子育て支援サービスについて、具体的にどんな施設があるか説明してほしい。				3か月健診では、子育てSOS支援相談員が上越市の子育て支援サービスについて紹介している。集団学習の限られた時間の中で紹介できない部分もあるため、具体的な施設名などについては資料をお渡しするほか、個別の相談にも応じている。	
	予防接種や健診の案内や申し込みなどが、メールで届くと便利だと思います。				・市では「子育て応援ステーション」というサイトを作成し、登録者にはメルマガ配信サービスを行っており、市ホームページに掲載した予防接種や乳幼児健診に関する情報の更新内容などを随時お知らせしている。メルマガ登録について周知する。 ・予防接種や乳幼児健診の具体的な内容や日時等については、個人ごとに接種や受診の内容が異なることから、メールによる案内は実施していない。	
	3カ月・6カ月検診以外もはがきなどで案内してほしい。				・乳幼児健診の日程については、出生届時や転入時に案内するほか、一部の健診については個別通知を行っている。また、未受診者についてははがき等による受診勧奨を行っている。 ・健診受診時に、次回の健診予定や予防接種について情報提供していく。	
	乳幼児健診の日程等、年度はじめに紙1枚配って終わりということに不満を感じる。	・乳幼児健診の日程については、出生届時や転入時に案内するほか、一部の健診については個別通知を行っている。また、未受診者についてははがき等による受診勧奨を行っている。市ホームページや子育て応援ステーションで健診日程をお知らせしているので、周知する。				
	以前まで健診の通知が、月齢・年齢にかかわらず送られてきていたのに、今は月齢・年齢によって送られてこない場合があるようになってしまったことは、不便である。	・健診受診時に、次回の健診予定や予防接種について情報提供していく。				
	健診時の職員の対応への不満。(健診時に母乳不足・体重増加不良を指摘され不快な思いをした。子育てについて型にはめたがる職員の対応に精神的な負担を感じた。)	健診時の対応等については、随時健診スタッフで共有し対応の改善に努めているところ。ご指摘の内容についても健診スタッフで共有する。				
	4	予防接種事業	健康づくり推進課	インフルエンザや水疱瘡、おたふくなどの予防接種の費用を助成してほしい。	任意の予防接種は、保護者と医師の相談によって判断し接種するものであり、行政が積極的に勧奨するものではない。 インフルエンザについては、高齢者は重症化防止効果が高いことから定期接種となっているが、子どもは接種による有効性が低いなど、接種の効果や副作用の問題等から、定期接種から除外された経緯がある。 一方、おたふくかぜやB型肝炎、ロタウイルスなどは国において定期接種化の検討が進められている。 上越市は、現状では任意接種の費用助成は考えていないが、国の動向を見ながら定期接種について全額公費の対応を検討していく。	
	5	フッ化物塗布事業	健康づくり推進課	—	—	
	6	フッ化物洗口事業	こども課・学校教育課	—	—	
	7	ブラッシング指導会	こども課・学校教育課	—	—	
	8	休日・夜間診療所	健康づくり推進課	休日診療に小児科医がいてもらえると安心です	上越市休日・夜間診療所における医師の出務は、上越地域の小児科医を含む当番制となっている。医師の数に限りがあること、自院の診療後等に来ていただいていることから、小児科医が常駐することは難しく、現状維持としたい。	

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応
		2 子育てに対する経済的支援の充実				
		1	不妊治療費助成事業	健康づくり推進課	—	—
		2	妊産婦・子ども医療費助成事業	こども課	アレルギー等が原因で定期的(月に1~2回)に通院するので医療費の負担を少なくしてほしい。	通院の場合、同一医療機関であれば4回までは1回530円の一部負担となり、5回目以降は無料となっている。
	病気の際、登園届から、登園許可証に変更になった件で、医者サインをもらいに行く時のみは、530円の医療費を0円にしてほしい。				通院の場合、同一医療機関であれば4回までは1回530円の一部負担となり、5回目以降は無料となっています。また、文書料であっても、医療保険の対象となる場合は、助成対象となっており、現状維持としたい。	
	子どもの医療費を無料にしてほしい。				子ども医療費助成では、中学校卒業までのお子さんを持つ家庭の負担軽減を図り、通院1日530円、入院1日1,200円のみ負担をいただいている。一部県の補助制度も利用しているが、市単独分で毎年4億2千万円の助成を行っているところであり、現状維持としたい。	
	子ども医療費助成の対象年齢を上げてほしい。(18歳まで延長)				子ども医療費助成では、中学校卒業までのお子さんを持つ家庭の負担軽減を図り、通院1日530円、入院1日1,200円のみ負担をいただいている。一部県の補助制度も利用しているが、市単独分で毎年4億2千万円の助成を行っているところ。高校卒業まで助成対象を拡大するためには、市単独では財政負担が大きく、県の補助制度の拡大が望まれるため、県の補助制度の見直しを要望しているところ。	
	医療費の返還請求が6カ月以内というのは短すぎる。県外で支払った医療費を請求すれば戻ってくることなど1年前は知らなかったため、請求できなかった。				返還請求に当たり、県外の医療機関や保険者も含め照会等が必要となる場合も想定し、診療後6カ月という一定の期間を設けているもの。県外で支払った医療費でも助成対象となることを周知する。	
		3	児童手当給付事業	こども課	児童手当を増額してほしい。	児童手当の額は、法律で定められており全国一律であるため、現状維持とする。
		4	児童扶養手当給付事業	こども課	親と同居してるが、私の給料だけで子供を育てるのは苦しいので、手当を支給してほしい。	児童扶養手当の支給額や所得限度額等は法律で定められており、全国一律であるため、現状維持とする。なお、同居家族の所得が一定以上の場合には支給停止となるが、親と同居しているということだけで支給停止とするものではない。
		5	保育料の軽減	こども課	保育料が高い、保育料の無償又は軽減してほしい。	市では国が基準としている保育料より低い額で保育料を定め、保護者の方の負担軽減を図っており、国の基準に比べた市独自の軽減額は4億3千万強であり、現状維持としたい。 国において、同時入園の場合は、2人目半額、3人目無料の軽減措置をとっている。 また、市では、18歳未満の児童が3人以上いる世帯について、3人目以降の児童が3歳未満で入園している場合は、保育料を基準額の1/4に軽減している。
	第2子、第3子の保育料を無料又は軽減してほしい。					
	同時入園ではなくても、第2子、第3子の保育料を安くしてほしい。					
	保育料を一律にしてほしい。				保育料は応能負担の原則があり、所得に応じて金額が決まるため、一律にはならない。	
	未満児の保育料を軽減してほしい。				市では国が基準としている保育料より低い額で保育料を定め、保護者の方の負担軽減を図っており、国の基準に比べた市独自の軽減額は4億3千万強であり、現状維持したい。 未満児は保育に係る費用が以上児に比べて高いことから保育料も高くなっているもの。	
	保育園という選択しかないのに、幼稚園より保育料が高くなるのが納得いきません。地域毎の保育料を設定してほしい。				保育料は応能負担の原則があり、所得に応じて金額が決まるため、地域毎の保育料の設定は行わない。	
	収入に応じて保育料が決まっているが、住宅ローンなどがある人の事も考えてほしい				保育料は応能負担の原則があり、所得に応じて金額が決まるため、住宅ローン等個別の事情を考慮することはできない。	
	前年度の収入で保育料が決まるが、育休中の時は支払いが大変である。				保育料は前年分の収入で算定することとなっており、軽減することはできない。	
	生活がきびしく、生活費を稼ぐために働いても、保育料で取られてしまう。				保育料は応能負担の原則があり、所得に応じて金額が決まるが、市では国が基準としている保育料より低い額で保育料を定め、保護者の方の負担軽減を図っているため、現状維持としたい。	
	同じ保育料を払っているのに保育園の開園時間が園によって違うのはおかしい。				公立保育園では朝7:30から、私立では7:00、7:15、7:30の開園時間で行っている園があるが、各園とも早朝からの受入れに努めている結果であり、通常時間である8:30開園前の延長保育料はいただけない。現状維持としたい。	
	「保育料の算定を間違えていた」と連絡が来て、後で徴収されることがある。きちんと算定してほしい。	今後、保育料の算定誤りがないようチェック体制を再確認し改善する。				
		6	私立幼稚園就園奨励費補助金	教育総務課	保育料が高い、保育料の無償又は軽減してほしい。 幼稚園の預かり保育の保育料を軽減してほしい。 幼稚園就園奨励費の金額をもう少し上げてほしい。	新制度移行後の保育料等の在り方については、今後検討する。
		7	就学援助費(特別支援教育就学奨励金)	学校教育課	—	—

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応	
		8	就学援助費（要保護及び準要保護児童生徒援助費）	学校教育課	—	—	
		9	通学援助費	学校教育課	子供無料バスや子供(中高生)になっても通学費をもっと考慮してほしい。	遠距離通学（小学生3km、中学生5km以上）する児童生徒への通学費の助成や、スクールバスの運行により負担を軽減しおり、現状維持としたい。	
		10	子育てジョイカード事業	こども課	子育てジョイカードの対象を子供がいる家庭全世帯にしてほしい。 子育てジョイカードの協賛店を増やしたり、割引を多くしてほしい。	対象者の拡大については、事業者へ打診したところ、特に利用者の利用頻度の多い企業（1日100人以上）から反対があり難しい状況。 事業周知の方法や内容を検討し、協賛店舗数の増加に努める。	
		11	ひとり親家庭等医療費助成事業	こども課	—	—	
		12	母子家庭等の自立支援の推進	こども課	—	—	
		13	障害児福祉手当	福祉課	—	—	
		14	特別児童扶養手当	福祉課	—	—	
		15	未熟児養育医療給付事業	こども課	—	—	
		16	入学支度金支給事業	学校教育課	—	—	
		<b>3 多様な保育サービス等の提供</b>					
		1	保育環境の整備計画の策定	こども課	すべての区で平等に保育園を選べる環境になってほしい。 基本となる保育園の数の不足している。 保育園の建て直しや移転など、古い施設や環境の悪い所は改善してほしい。 行政コストの削減と良質な施設環境での保育サービス提供の為、保育園の合併を進めてほしい。 地域保育園の利用を考えているので、なくならないでほしい。	今後も、保育園の環境整備や適正な配置に取り組んでいく。また、入園申し込みに当たっては、保育の必要性に応じた優先順位により決定する。 市内の保育園・幼稚園計75園のうち、52園は合併前上越市の区域にあり、需要に対する供給量は確保されている。必ずしも希望とする園には入園できない場合があるが、事情を勘案しながら極力希望に沿うようあつせんに努めている。今後も、保育園の環境整備や適正な配置に取り組んでいく。 今後も、保育園の環境整備や適正な配置に取り組んでいく。 地域保育園（小猿屋保育園のみ）は、もともと交通条件などに恵まれない地域において保育を要する児童の福祉増進を図ることを目的とした無認可の保育園であり、現状は、所期の目的と異なる状況になっているため、今後、地域保育園のあり方について検討する予定。	
		2	保育園の環境改善	こども課	保育園の設備、備品を統一してほしい。 駐車場、園庭を広くしてほしい。	備品等については各園で著しい差は無いため現状維持としたい。園庭や駐車場の問題については、保育園の環境整備や適正な配置に取り組んでいく。	
		3	通常保育事業（3歳未満児）	こども課	未満児の受け入れ定員を増やしてほしい。	定員を増やすためには、施設の増改築が必要な場合もあるが、何よりも保育士の確保が必要です。特に年度途中の入園希望に対応するため、通年で保育士資格者の募集をしているが保育士が不足している状況であるため、保育士資格取得者を対象した再就職セミナーを実施して人員確保に努めている。	
		4	通常保育事業（3歳以上児）	こども課	保育園でも幼児教育をしてほしい。 クラスごとに一つ部屋があった方が良くと思う。現在の園で、合同クラスになっていて、更に進級に向けてと、つい最近担任が変わった。はじめから別クラスで担任は1クラス1人とし、1年しっかりつけてほしい。 園長によって、対応が違う場合があるので、戸惑うことがあります。 保育園でのおやつが不適當なものが与えられるのを改善してもらいたい。安心、安全、添加物の少ない食材で、給食づくりをお願いします。 この春より、土曜の給食が無くなり、困っている。土曜日が休みの親ばかりではないので、給食の援助をして頂けると助かります。 ケガの発生時の連絡(病院に行く)が遅いです。体調不良時も同様に、両親への連絡が夕方頃になっています。とにかく安心して働いていける環境が必要で、安全を保障してほしい。 上越市の保育理念を、保育園で一回も聞いたことがない。園長以下職員内に理念の共有化が図れていないと思う。各々の独自の考えでやってもらっては困る。 子供が発熱するのは仕方ないが、タイムリーに園内で、はやっている病気の情報を出してほしい。当日休む連絡をするときに「実は昨日から～の病気の子どもが2人います」等、事後に報告を受けることが多かった。 保育園から発信される文書で敬語が適切になっていない。市として文書構成の仕方も研修していないのかと疑問である。 妙高市の私立保育園が妙高自然の家の野外活動ととりいれるそうなので、ぜひ上越市内の保育園の子ども、年間数回でいいから体験できればよいと思う。 感染症対策等もう少ししっかりすべきだと思う。 男性保育士を増やしてほしい。父親も保育園へ自然に行けるし、男性から見た保育のアドバイス等が受けられるため。	保育所保育の特性は「養護と教育が一体」となって保育が進められるところにある。保育所保育指針に基づき、発達過程に応じた教育も行っている。 基本的に年齢別にクラス編成を行っているが、園児が少ない保育園では、合同クラスとしている。基本的に年の途中で担任が変わるがなく進級に支障がないよう配慮しており、今後もそのように努めていく。 各園で統一した説明が必要な事項については、園長会議や文書にて説明し対応しているところであり、今後とも対応が異なることのないよう徹底する。 添加物の少ない食品に限定した対応は難しいが、今後とも安全・安心な食材の提供に努めていく。 当該園での事情によりやむを得ず給食を止めたものであり、再開は難しいと考える。 日中元気で夕方から具合が悪くなることもある。子どもたちの体調の変化を早期に発見できるよう、より一層子どもの体調管理に配慮する。 市では共通の保育目標の基、各園ごとの保育課程・指導計画を作成し、職員が共有しながら保育を実施している。保護者へも保育園より等を通じてお伝えしている。 感染症については、玄関での掲示等により情報を保護者の方に提供しているが、保護者への声掛けや迅速な伝達に努める。 適切な文書を作成するよう努める。 散歩や遠足等を通じて四季折々の自然と触れ合う体験活動を取り入れている。 多くの園児を預かる中で難しい面があるが、各保育園ででき得る範囲での感染症対策は行っている。 男性の就労希望も増え、徐々に男性保育士が増えている。なお、こどもセンターの子育てセミナーで男性保育士による父親と子どもの遊び方等を学ぶ機会も設けている。	

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応
		5	延長保育事業	こども課	保育園の開園時間(保育時間)を長くしてほしい。	公立保育園では、7時半から18時まで開園する園が20園、延長保育時間も含め19時まで開園する園が24園であり、中学校区に1か所は19時までの開園としているところ。 4月からは、18時までの園は、18時半までの開園時間となる。
					すべての園で開園時間を統一してほしい。	
					土曜日も一日開園してほしい。	中学校区に1か所設置する平日7時半～19時まで開園している保育園は、土曜日17時まで開園しており、現状維持としたい。
					土曜日の利用「学校行事(学校役員としての手伝い)」の時から預かってほしい。	土曜日の午後一時預かりを行っている公立・私立の保育園や、ファミリーヘルプ保育園の利用について、周知していく。
		6	一時預かり事業	こども課・教育総務課	一時預かりの施設や利用定員を増やしてほしい。	市内には24か所の認可保育園やファミリーヘルプ保育園で一時預かりを実施しており、ファミリーサポートセンターで会員相互の一時預かりも行っているため、まずは周知を図っていく。
					一時的に利用したい施設だけに登録の仕方や利用時間等々があまりよく理解できていない。	事業の利用方法などについて、わかりやすい周知を検討し実施する。
					一時預かりの保育料を兄弟で利用した場合に軽減してほしい。	利用料金は1日3歳未満児で1,500円、3歳以上児で1,200円であり、県内他市に比べても決して高額ではないと考えている。なお、利用料のあり方については、その単位時間も含め、今後検討する予定としている。
					幼稚園の預かり時間を長くしてほしい。	幼稚園における預かり時間については、今後検討していきます。
					盆、正月など長期の休みにも見てもらえる施設を増やしてほしい。	ファミリーヘルプ保育園で一時預かりを行い長期の休みにも対応している。また、放課後児童クラブでは、夏休み等の利用を行っている。
					週4日以上預かってほしい。	緊急的な理由の場合、ファミリーヘルプ保育園では1か月を限度に1日単位で預けることが可能であり、周知していく。
					入園を予定している幼稚園でも一時保育サービスがあればよい。	幼稚園での一時預かりについては、今後検討していきます。
					市立幼稚園の預かり保育をリフレッシュ目的での利用を認めてほしい。(月1回程度)	学校行事や体調不良等、真に保護者の方に支障が生ずる場合に限り行っている。リフレッシュ目的であれば、ファミリーヘルプ保育園が利用できるため、あらためて周知していく。
		7	休日保育事業	こども課	すべての保育園で日曜・祝日も開園してほしい。 日曜・祝日も預かってもらえる施設を増やしてほしい。	相応の理由がある預かり保育については、柔軟に対応している。その旨、周知を図っていく。
					休日保育を行っている施設やファミリーヘルプ保育園が利用できるため、周知を図っていく。	
		8	ファミリーヘルプ保育園	こども課	夜勤預かってもらえる保育園がほしい。	現在は恒常的な夜勤がある場合を除き、ファミリーヘルプ保育園が利用できる。また、家庭的保育のお泊り保育として、児童の宿泊に対応することができるため、周知を図っていく。
					職員の対応への苦情(利用の相談をした際に色々聞かれ、結局利用できなかった。職員の対応に不快な思いをした。など)	利用の際には要件の確認が必要となっている。職員の対応については、適切に行うよう指導する。
					利用時の荷物を減らしてほしい。(半日でもふとんが必要など)	児童を適切な環境で保育するために必要なものをお願いしているため、現状維持としたい。
					送迎付きの預かり施設にしてほしい。	利用時間が利用者によって異なるため、個々人の送迎に対応することは難しい。
					食事の提供をしてほしい。	一時預かり専門の施設であり1日毎に利用者数が違うため、現段階での実施は困難です。
					施設警備を充実してほしい。	現状の機械警備を継続します。
施設を増やしてほしい。	一時預かりは、ファミリーヘルプ保育園以外に一時預かりを実施している保育園であれば利用できます。合併前上越市の概ね中心にファミリーヘルプ保育園があるため、現在同様の機能をもった施設の設置の予定はない。					
心臓の薬を飲んでしていると伝えただけで断られた。	ファミリーヘルプ保育園の利用は、就労、疾病、介護、災害、リフレッシュ等で緊急又は一時的に保育ができないこと、かつ、健康状態が良好であるということ为原则としており、万が一の場合等の対応が困難であると判断したものであると思われるが、利用者に不審に思われないよう、適切な対応を指導する。					
週4回使えるようにしてほしい。リフレッシュ目的での利用回数を増やしてほしい。	緊急的な理由の場合、1か月を限度に1日単位で預けることが可能であり、リフレッシュ目的でも週3回までなら利用できる。					
時間単位での料金設定にしてほしい。	市内の一時預かりの利用料は現在1日単位としているが、利用料のあり方については、その単位時間も含め、今後検討する予定としている。					
9	家庭的保育事業	こども課	小学校低学年も利用できるようにしてほしい。	幼児と就学児と一緒に預かることは難しいため、現状維持としたい。		
			夜勤預かってもらえる保育園がほしい。	現在は恒常的な夜勤がある場合を除き、ファミリーヘルプ保育園が利用できる。また、家庭的保育のお泊り保育として、児童の宿泊に対応することができるため、周知を図っていく。		
			家庭的保育をもっと増やしてほしい。 家庭的保育事業保育料金を1日単位の設定にほしい (1時間300円だとかなり出費になる)	家庭的保育は県内では上越市が唯一行っている事業であります。自宅で保育する資格を有する人材の確保が難しい現状であり、拡大は難しい。 家庭的保育事業の利用料金は必要な時間に利用するため、時間あたりの料金としているものであり、現状維持としたい。		
10	病児保育事業	こども課	病児・病後児保育室の施設を増やしてほしい。	病児病後児保育の受入れ定員については、十分確保されている。しかしながら、高田・春日山・直江津に各1か所しかない状況である。実施するための設備が整った施設や協力医療機関の確保が難しいため、現状維持としたい。		
			病児保育室の利用料を安くしてほしい	小児科医院併設で、子どもを安心して預けられる環境であり、他市と比較してもほぼ同一料金となっており、現状維持としたい。		

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応	
		11	病後児保育事業		病後児保育室の建物が古くを新しくしてほしい。 病後児保育室の利用料を安くしてほしい。 半日の料金を設定してほしい。 利用するのに事前登録や一度医師への受診など手続きが面倒であり、簡素化してほしい。 小学校高学年まで受け入れ可能にほしい。 土日や祝日も一日預かってほしい。	病後児保育室は現在借り受けているものであり、公共施設等への移転を今後、検討することとしている。 利用料金については、他市と比較してもかなり安くなっており、他市並みの利用率となるよう見直しを予定している。時間単位での料金設定も検討する。 子どもの健康と安全を守るため、病状により病児病後児保育室の利用が可能かどうか、医師の判断が必要であり、現状維持としたい。 病児保育室では、小学校高学年の児童についても受け入れている。 病児病後児保育は医療機関の協力が必要なことから、医療機関の休診日については、実施できないため、現状維持としたい。	
		12	障害児保育事業	こども課	—	—	
		13	保育園通園バスの運行	こども課	通園バスの運行、整備をしてほしい。 通園バスを無料にしてほしい。	公立保育園の場合、通園バスは地元の町内会や保護者会などが運行組合を作って運営いただいております、現状維持としたい。 一定の受益者負担は必要であり料金設定も妥当と考えるため現状維持としたい。	
		14	看護師等雇用補助	こども課	—	—	
		15	私立保育研究会補助	こども課	—	—	
		<b>4 子どもの育ち支援の充実</b>					
		1	すくすく赤ちゃんセミナー	健康づくり推進課	—	—	
		2	離乳食相談会	健康づくり推進課	—	—	
		3	産前・産後ヘルパー派遣事業	健康づくり推進課	産前産後のサポートの拡大、期間の延長をしてほしい。	事業の目的や実績等からみて現状維持としたい。なお、適宜ファミリーサポートセンターを紹介するなど他事業の利用により必要なサービスが受けられるよう支援している。	
		4	訪問指導事業	健康づくり推進課	—	—	
		5	助産師健康相談事業	健康づくり推進課	—	—	
		6	保育園・幼稚園巡回訪問事業	こども発達支援センター	—	—	
		7	こども発達支援センター	こども発達支援センター	個人的には、もう少し療育する施設があると、発達に心配な親や身近な人等、ありがたいです。 6歳はなれた兄が発達障がい者です。気軽に相談できる施設も充実させてほしい。 こども発達支援センターを利用の際は仕事を休んで通っているのが現状です。土日や時間帯の拡大などの対応を強く望んでいます。 発達支援センター以降の施設がないので不安である。小学校はサポート教室があるがそれだけでカバーできるのでしょうか？その面のフォローが少ないように思いますがそれだけでファミリーヘルプ保育園を利用する時は、いつも気を使う。手も掛かるのでなかなか快く受け入れてもらえずに困る時があります。どうしても預けたい時は支援センターの先生と相談したりしています。保育園に行く前はセンターの方で預かっていただいた事があります。最近では、差別があるのではないかと思うくらいです。かわいがって頂いているかも不安です。	発達支援及び療育支援の場を増やすためには、専門性の高い人材が必要だが、その絶対数が少ない中で、民間を含めた地域の人材育成が思うように進まない実態がある。今後も関係機関と連携しながら、地域の療育支援の場を広げていけるように努めていく。 こども発達支援センターは現在乳幼児を対象としている施設だが、あらゆる相談を受け入れ、関係部署に繋ぐ取り組みもしている。その旨を周知していく。 専門性が高い分野であること、また、児童一人一人に担当が固定しており、常に人材が不足している状況のため、現状では土日等の開設は困難であり、現状維持としたい。 就学後スムーズに学校に移行できるようこども発達支援センターの相談対象を概ね小学校2年生まで拡大し対応している。 乳幼児であれば、土日等を除き、発達支援センターの障害児一時保育事業の利用が可能であり、周知する。 ファミリーヘルプ保育園での対応については、心配の無いよう指導する。	
		8	上越市要保護児童対策地域協議会の運営	こども課	—	—	
		9	子育てSOS支援相談員	健康づくり推進課	—	—	
		10	家庭相談員	こども課	—	—	
		11	子育て関連施設における相談の実施	こども課	—	—	
		12	子育てひろば	こども課	土、日、祝日も子育てひろばを開設してほしい。 子育てひろばの遊具を充実してほしい。 子育てひろばの開設時間の延長。 子育てひろばの開設場所を増やしてほしい。 移動子育て広場の継続希望 子育てひろば職員の質の向上 子育てひろばの内容等を周知してほしい。	土、日、祝日については需要も多くないため開設していないが、こどもセンターを開設しており、利用を周知する。 面積によって置ける遊具の制限はあるが、各ひろばの要望を開きながら計画的に遊具等の配置・更新を進めている。 午後からの利用者が少ない状況であり、開設時間は現状どおりとしたい。 利用者に配慮し、概ね中学校区単位で1か所設置している。各ひろばとも定員に余裕があるため、新たに開設する予定はない。 常設のひろばがない地域の代替え措置であり、利用者が無い時もあるが当分の間は継続する。 職員2名中、1人は保育士の有資格者を配置するとともに、相談スキルアップのための職員研修も実施しており、引き続き資質向上に努める。 引き続き、子育て支援サイト「上越市子育て応援ステーション」や広報等での周知を図っていく。	
		13	こどもセンター	こども課	大きい子(小学生)と小さい子の遊ぶスペースを分けてほしい。小学生も遊べる遊具を設置してほしい。 こどもセンターのスタッフの質の向上。 こどもセンターの衛生面を徹底してほしい。 こどもセンターの子育て相談室の回数を増やしてほしい。 こどもセンターのイベントを充実してほしい。 気軽に相談、おしゃべりできる友人がいないこと こどもセンターに気軽に利用できる託児サービスがほしい	(仮称) 厚生産業会館内のこども施設で年齢層に応じて遊べるプレイルームを検討中。 引き続き、利用者アンケートなどによる利用者の声を踏まえた対応や研修によるスキルアップを図っていく。 引き続き、衛生管理を徹底する。 子ども相談室の開設日以外でもスタッフが随時相談に応じている。 利用者に喜ばれるイベントを検討する。 子育て相談や子育て支援サークルなどの照会などを行っており、活用を周知する。 (仮称) 厚生産業会館内のこども施設で一時預かりの実施を予定している。	
		14	こどもセンター事業 ベビー健康ブラザ	こども課	—	—	
		15	子育てセミナー等の開催	こども課	—	—	
		16	利用者支援事業	こども課	幼稚園や保育園などの、選び方がいまいち分からず、分かりやすい資料があれば子育てに対する支援の解りやすい冊子などがあると嬉しいです。	NPO法人と共同で子育てに関する各種施設を紹介するハンドブックや子育て支援事業の紹介パンフレットを作成して配布している。また、子育て支援サイトも開設しており、周知を図っていく。	
		17	障害児日中一時支援	福祉課	障害児を持つ親が働きやすくなるように、サポートを充実させてほしい。	放課後等デイサービスで対応が可能であり、その利用を周知する。なお、障害のある人の相談については、福祉交流ブラザの障害者相談支援センターで、相談に応じているため、あわせて周知を図っていく。	

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応	
		18	子育て支援情報の提供	こども課	子育て支援のサービスにどのようなものがあるか、分かりにくい。 習い事や小学校等の情報を知りたい場合どこを調べたらいいのかわからない。 そういった資料等が気軽に取り寄せられるとありがたい。 子育ての情報などもっと配信してほしい。 こどもセンターや子育てひろばなどの情報提供が少ない様に感じます。	NPO法人と共同で子育てに関する各種施設を紹介するハンドブックや子育て支援事業の紹介パンフレットを作成して配布している。また、子育て支援サイトも開設しており、周知を図っていく。 現在、パンフレットを設置していない公共施設等にチラシやパンフレットを設置する。	
		19	若竹寮管理運営事業	若竹寮	—	—	
		20	子育て・女性・思春期相談事業	健康づくり推進課	育児相談ができる環境がほしい。 仕事と家庭の両立で悩みなどもある為、相談できるような機会があると助かります。(特に土日) 子育てについていろいろと相談できる機関があると良いと思います。	子育てに関する相談については、健康づくり推進課、各区総合事務所、こども課、市内保育園、こどもセンター、子育てひろば等で受け付けているほか、乳幼児健診などの機会にも個別相談を行っている。また、電話相談として助産師による健康相談室や県のすこやかコールも利用できる。これらについて、一層の周知を図っていく。	
2	こころとからだ	こころとからだ					こころとからだ
		1 地域ぐるみの子どもの健全育成の推進					1 地域ぐるみの子どもの健全育成の推進
		1	児童館	こども課	—	—	
		2	こどもの家	こども課	こどもの家を増やしてほしい。  地域のこどもの家の運営がどうなるか話し合ってる最中ですが、存続してほしい。  こどもの家を午前中も開放してほしい。	こどもの家は、来年度から関係町内会へ譲渡する予定とし、遊び場の機能は継続するが、新たに設置する予定はない。  こどもの家は、来年度から関係町内会へ譲渡する予定とし、遊び場の機能は継続する。  利用状況を見ながら、現在の開設時間としたものであり、午前の開放は予定していない。	
		3	図書館における読み聞かせ	高田図書館	—	—	
		4	図書館における子ども向け図書資料の充実	高田図書館	—	—	
		5	子どもボランティア参加推進事業	共生まちづくり課	—	—	
		6	謙信KIDSスクールプロジェクト	生涯学習推進課	市が主催の子供向けイベントを増やしたり充実させてほしい。  区に住んでいますが、子供たちの数が少なく、家も散在しているので、なかなか集まって遊ぶことができません。結果、家の中での遊びが増え、体力づくりや社会性を育む機会が少ないと思います。	公民館事業、謙信kidsスクールプロジェクトでは青少年向けの事業を行っているが、今後、事業の見直しを含め参加しやすい事業を検討していく。	
		7	青少年対象事業	公民館	—	—	
		8	緑の少年団	農林水産整備課	—	—	
		9	少年スポーツ活動育成事業	体育課	子どもが参加できる、しやすい、体育関連の施設やイベントを増やしてほしい。	平成26年度より運動遊びで元気アップ教室を実施している。	
		10	放課後児童クラブ	学校教育課	すべての学校に設置してほしい。  すべての児童クラブを長期休みも開設してほしい。  利用時間延長、環境充実。  利用条件の緩和  小学校の学級閉鎖の時も開設してほしい。  1～2日前の予約でも、単発で簡単に利用できるようにしてほしい。  年1回でもいいからリフレッシュ目的で利用したい  高学年でも利用できるようにしてほしい。(特に長期休暇時) 「19時までに迎えに行く」ということが出来るかどうかという不安もあります。急な仕事が入ってしまった時など特別な場合、迎えの時刻を延長できるようなシステムがあると嬉しいです。  体を動かして遊べないので体を動かせるとありがたいです。 児童クラブでは夏休み等、6年生になっても、昼寝をさせると聞きました。 寝ないと叱られるとも。そういうことを聞くと、預けるのに不安を感じます。  長期休暇の昼食負担(お弁当持参)等も、代替サービスを充てる事は可能だと思う。  どこにあって、どう利用をするのかわからないので知りたい。  フルタイムで勤めていたが、児童クラブが無く、上の子の時(保育園から小学生になる時)に仕事をやめ、家でできる仕事について、生活が厳しくなった。親のサポートは得られないので、母親が主に子供の世話をしているため、児童クラブができ、休みの取りやすい仕事に就きたいが、状況は厳しい。 仕事をしながら子育てすることに伴う子どもの預け先(特に放課後)を充実させてほしい。ただ預かるだけでなく学校生活でのプレッシャーから解放されるように少人数保育などがあるといいと思います。 放課後児童クラブを無料化してほしい。 学校のPTA行事が多く関係のない者がふりまわされる為、学校で一時期預かりをしてもらいたい。	放課後児童クラブの未設置校については、保護者の要望を確認し開設基準を満たした所から開設している。  保護者に利用希望調査を実施し、開設の検討を進めている。  開設時間の変更予定はないが、児童クラブの環境向上については今後検討していく。  放課後児童クラブでの感染拡大を防ぐため、小学校の学級閉鎖の場合は、該当する学級の児童の利用を控えていただいている。該当する学級以外の児童に関する利用は可能。 放課後児童クラブには緊急一時利用があり、急な介護、学校行事の場合は、前日までに申請していただき利用することができるため、引き続き、周知していく。 放課後児童クラブは保護者等が不在となる家庭の児童が対象となりますので、リフレッシュの事由での利用はできない。 上越市では小学校6年生までを対象としており、周知を図っていく。  放課後児童クラブの開設時間の延長は考えていない。 なお、そのような場合は、ファミリーサポートセンターが活用できる。  学校内に開設している児童クラブは学校の体育館等が使用できる場合は体育館での活動も行っている。 放課後児童クラブでは、昼食後に休憩時間はあるが昼寝の強要はしていない。本を読む等静かに過ごせる時間としている。  アレルギーや食中毒等の観点から、放課後児童クラブで昼食の提供は考えていない。  各放課後児童クラブや学校教育課に利用案内を配備し、問い合わせ等に関しても対応している。また、市のホームページにも放課後児童クラブについてのページがあるので、今後も周知する。  放課後児童クラブの未設置校については、保護者の要望を確認し開設基準を満たした所から開設している。  放課後児童クラブの未設置校については、保護者の要望を確認し開設基準を満たした所から開設している。各児童クラブで時間を決めて体育館を利用する等の活動もしています。  一定の受益者負担は必要と考えており、無料化は考えていない。  放課後児童クラブには緊急一時の利用があります。	
		11	コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)	学校教育課	—	—	
		12	地域青少年育成会議	生涯学習推進課	地域に住む方達との交流の場をもうけて、そこから学ぶ機会を取り入れてほしい。  地域のお年寄りが集まる場所で、子供たちも(小学生ですが)一緒に過ごすことができ、見守りなどをしてほしい。	公民館事業、謙信kidsスクールプロジェクトでは青少年向けの事業を行っているが、今後、事業の見直しを含め参加しやすい事業を検討していく。 地域青少年育成会議では「地域の子どもは地域で育てる」の理念から、青少年の健全育成事業を行っており、地域の中で子どもと高齢者の交流の場が生み出されていくような仕掛けづくりを検討していく。 地域青少年育成会議では「地域の子どもは地域で育てる」の理念から、青少年の健全育成事業を行っており、地域の中で子どもと高齢者の交流の場が生み出されていくような仕掛けづくりを検討していく。	

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応
<b>2 学校教育環境の充実</b>						
		1	外国語指導助手による語学指導（ALT活動事業）	学校教育課	—	—
		2	学習情報指導員の配置	学校教育課	—	—
		3	教育補助員の配置	学校教育課	—	—
		4	特別支援教育巡回相談事業	学校教育課	発達支援センター以降の施設がないので不安である。小学校はサポート教室があるがそれだけでカバーできるのでしょうか？その面のフォローが少ないように思います。	市では、障害の種別に応じた特別支援学級のほかに、言語障害、難聴、発達障害の通級指導教室が設置されている。通級指導教室では、児童生徒の状態に応じて、週8時間までの指導が受けられ、また、児童生徒の困難さへの支援や校内支援体制づくりを行うために、巡回相談事業を通年で行っている。各学校には特別支援教育コーディネーターがおり、相談できる体制が整っている。
		5	教育相談事業（相談支援体制の整備）	学校教育課	（現在小4、特別支援学級在籍中）知的に障害があり、普段習い事もしていません。本人にとってこのままでよいのか悩んでいます。 教育環境への不安 子供会や園や学校の行事が不安 小学校で友達とうまく接することができるか不安 通っている園の学校区と、今住んでいる学校区が違うこと。子供のことを思うとどうしようか…。	教育に関わる不安や、悩みについては、園や学校に遠慮なくご相談できる体制となっている。また、市では、学校訪問カウンセラーによる教育相談や、電話相談である「子どもホットライン」も実施しており、児童生徒や保護者の悩みに対して援助・助言している。
		6	教育相談事業（教職員の研修の充実）	学校教育課	—	—
		7	不登校児童生徒適応指導教室	学校教育課	—	—
		8	やすづか学園（やすづか学園運営費補助事	福祉課	—	—
		9	学校施設整備事業（施設の耐震化）	教育総務課	—	—
		10	学校施設整備事業（給食室の整備）	教育総務課	—	—
		11	教育用コンピュータ設置事業	学校教育課	—	—
		12	学校施設整備事業（施設の改修）	教育総務課	小学校も内装をもう少し明るく暖かい雰囲気にしてほしい。（上の子の学校がじめじめ暗い感じだった）	校舎の改修、修繕の際には、各学校の意見を聞きながら対応している。
		13	介護員の配置	学校教育課	—	—
		14	LD（学習障害）指導員の配置	学校教育課	—	—
		15	就学支援の実施	学校教育課	—	—
		16	生徒指導支援員の配置	学校教育課	—	—
<b>3 子どもと家族を大切にできるまちづくり</b>						
<b>1 男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの推進</b>						
		1	男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動	共生まちづくり課	会社の子育てに対する理解が低い。特に男の上司。男親が子供の行事、病気等で休むのが困難、もしくは母親のやる気と思ってる人が多いのに、母親である女性が仕事を休んだりすると遠まわしに嫌味を言う。子育て経験者なのに、理解をしようとする姿勢が低すぎると思う。 様々な施設やサービスが充実しているのは困ったときに本当にありがたいと思います。でも本当は日ごろから残業などが少なく子供と充分接する時間が持てる働き方がフルタイムでもできたらな…と思います。市内の女性がゆとりをもって働ける職場環境の整備を市の方で働きかけてほしい。	仕事、家庭、地域活動など様々な活動を自分の希望する状態で実現する在り方である「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向け、企業対象の出前講座を開催するとともに、周知・啓発活動などを進めていく。なお、家庭・職場・人間関係など個別の悩みの相談については、市民プラザ2Fの女性相談窓口で、相談に応じている。
		2	男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発事業	共生まちづくり課	・家庭環境や子育ての条件はそれぞれ異なり、それに伴いニーズも変わると思う。よりきめ細かくニーズに対応出来ること、してもらえることが安心につながると思う。 ・子育ての基本は親であり働いている親もきちんと子供に向き合えるようワークライフバランスの整備に向けたPRや仕組みづくりを考えてほしい。 母親が働きながら育児、家事をこなしていくことがあたりまえの空気があるが、何時までもそれでいいのだろうか。それでは女性が本当に仕事に力を入れることができない。父親、そして企業、社会全体の意識改革が必要であり、少子化の大きな原因はここにあると思う。これでは女性が社会の中で本当に活躍することはできない。お金をばら撒くより、社会全体で子育てする意識づくりをお進め下さい。 保育園に預けて仕事をしたいと考えた時、仕事がないと園に預かってもらえないし、預かってもらえる場所がないと仕事は探せないし、できない。産休は一時的にあってないようなものだと思います。産前はつわりでギリギリまで泣いてとても働けないし、産後はそんなに早く復帰できません。女性の働く環境と周りのサポートがもっとあってほしい。	仕事、家庭、地域活動など様々な活動を自分の希望する状態で実現する在り方である「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向け、企業対象の出前講座を開催するとともに、周知・啓発活動などを進めていく。 今年度実施の男女共同参画に関する市民アンケート調査において、理想は、「夫も妻も仕事をし、共に家事をする」であったが、現実には、「夫も妻も仕事をし、妻が主に家事をする」という結果が最も多かった。現実を理想に近づけるために、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、企業等への周知・啓発や、企業への出前講座の開催などに取り組んでいく。 国や県等の様々な制度の情報収集に努め、市のホームページを通じてこれらの情報提供を行っているほか、関係機関と連携しワークライフバランスの推進を図っている。
		3	職業生活と家庭生活の両立のための広報・啓発事業	産業振興課	仕事と家庭の両立で悩みなどもある為、相談できるような機会があると助かります。 企業の子育てに対する理解が低い。企業に対し、育児休業や短時間勤務制度など、子育てしながら働きやすい環境づくりを働きかけてほしい。	仕事と家庭の両立に対する支援については、国・県等において様々な制度を実施している。市では、現在、市ホームページを通じたこれらの情報提供のほか、関係機関と連携しワークライフバランスの推進を図っている。
		4	企業における再就職の支援再就職準備セミナーの開催	産業振興課	—	—
		5	企業における再雇用制度導入の普及啓発	産業振興課	—	—
		6	企業における労働時間短縮の促進	産業振興課	—	—
<b>2 地域で子どもや家族を大切にできる意識の醸成</b>						
		1	子どもの権利パンフレットの作成・配布	こども課	—	—
		2	子どもの権利学習	こども課	—	—
		3	父子手帳の配布	健康づくり推進課	—	—
		4	赤ちゃんふれあい体験	健康づくり推進課	赤ちゃんふれあい体験の内容の充実。（目的や内容を事前に中学生に伝え、有意義なものにしてほしい）	赤ちゃんふれあい体験事業の実施にあたっては、乳児とその保護者の方々にご協力いただいている。今後の事業の実施にあたっては、内容の充実を図っていく。（実施主体は中学校）

基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応
		3	家庭と地域の子育て力の向上			
		1	家庭教育講座	公民館	—	—
		2	保育園での子育て家庭への支援	こども課	—	—
		3	保育園士雇用事業	こども課	—	—
		4	保育園地域活動事業	こども課	—	—
		5	ファミリーサポートセンター運営事業	こども課	家事援助(食事づくり)をしてほしい。 利用料金の軽減してほしい。	提供会員による食事の提供は、現在でも提供可能である。 県の最低賃金が715円であり、提供会員の受取金額を考慮すると適当と考える。
		6	民生委員・児童委員活動	福祉課	—	—
		4	子どもたちのためのよりよい環境づくり			
		1	安全教室(子ども・児童安全教室)	防災危機管理課	—	—
		2	安全メール	防災危機管理課	—	—
		3	交通安全教室	防災危機管理課	—	—
		4	街灯整備事業	防災危機管理課	—	—
		5	子育てバリアフリー設備の充実	こども課	乳幼児が2人以上いると。多目的トイレが大変助かります。 今以上に増やしていただけたらありがたいと思います。	子育てバリアフリー施設としての認定制度を周知し、協力企業の増加を図っていく。
その他			未認可施設関係	こども課	幼稚園、保育園以外の未認可施設利用者に補助や検診等のサービスが受けられるよう検討してほしい。	市では、幼稚園や保育園等を始め一時預かりや子育てひろばなど、市民のニーズを踏まえ公益性の観点から必要かつ一定の質を確保した教育・保育サービスを提供しているところ。市内には、無認可の施設や多くの子育て団体が様々な子育て支援活動等を行っており、利用者がどのサービスを選択するかは自由であるが、行政として提供する教育・保育施設や子育て支援の供給量が確保されている状況にある中で、任意の事業等及びその利用者に対し補助等を行うことは考えていない。
			事業所内保育関係	産業振興課	小規模保育施設(事業所内保育)を充実してほしい。	事業所内保育については、民間企業、病院、施設等の職員の福利厚生を目的としており、事業者自身での取り組みとなる。しかしながら、ワークライフバランスの推進や事業者内保育など、事業者が働きやすい環境づくりを推進することは必要であり、事業者に対し、国の支援策なども周知しながら協力をお願いしていく。
			公立保育所運営費・私立認可保育園の運営(入園手続き関係)	こども課	入園時の手続きを簡略化してほしい。(書類等) 就労していなくても保育園(地域の)に全員が入れるようになってほしい。 育休明けの保育園の入所を予約などの対応があると仕事に戻りやすい。 保育園の申し込み期間がわかるようにしてほしい。	入園申込みについては、保育の必要性を判断し認定するため、どうしても様々な資料の提出が必要となるが、様式を統一するなど極力簡略化に努めるとともに、入園の手引きを作成し、わかりやすい説明に努め保育園は保育の必要性がある方が対象となるため、それ以外は幼稚園を利用いただくこととなる。ただし、幼稚園の利用が出来ない地域については、最寄りの保育園での受入れも行う。 0,1歳児の年度途中での保育士の確保が難しい状況にあり、引き続き保育士の確保に努めていく。 新年度の入園申込み受付については、広報及び市のホームページで事前に周知している。
			学校の適正配置	教育総務課	春日新田小と小猿屋小は人数の問題などあり、校区の見直しがあり、新たに小学校が出来るとの事ですが、中学校は人数が増えても変わらないのはなぜですか？中学は一番年齢的にも大変な時期でもあり、ちゃんとした環境の中学校に行かせたいです。中学校をもう一つ新たに増やしても良いのでは？これだけ、団地を増やしているのだから、学校の事を考えて団地を作ってほしい。 学区の見直し(小学校区)(統合含め)は出来ないものか。 旧上越市の小学校の学区割がいまだに旧市町村合併時のもので現在の通学環境や、生活の環境と大きくずれている点が多々ある。学区割を現状の合わせて修正してほしい。 小学校、中学校の区域が悪い。他の学校の方が近いのに、区域で決まっていますからと、遠い学校に行かせなければならない。これは見直してほしい。 下門前に新しい家や子供が増えているのに、小学校や中学校がない。地区によって、学校の人数が違いすぎるのもっと平等にならないのか？	学区の見直し、統廃合については、現状を調査・確認のうえ、子どもたちの学習環境に支障があり、喫緊に対応しなければならない学校(学区)について検討を進めている。現在は有田地区、浦川原地区で対応している。
			幼稚園の整備関係	教育総務課・学校教育課	すべての区で平等に幼稚園を選べる環境になってほしい。 市立幼稚園、もっとたくさんあってほしい。近くにあれば、通わせたい。	幼稚園が選べるという環境づくりについては、今後検討していきます。 市内に私立も含め、幼稚園施設は11箇所あります。直江津周辺地域には3つの私立幼稚園があり、現在のところ待機児童もおらず、需給バランスが取れていることから、今のところ新たに公立幼稚園を設置することは考えていない。なお、幼稚園が選べるという環境づくりについては、今後検討していきます。
			幼稚園の入園関係	教育総務課・学校教育課	共働き(夫婦共にフルタイム)であり、希望する幼稚園に入園させるのが難しい状況です。 土日・祝日も開園してほしい。 妙高市の幼稚園に通えるようにしてほしい。 保育園等の募集について、就園前児でも毎年、各家庭に配布するなど、情報提供をお願いしたい。 プレ幼稚園のようなものを作ってほしい。 幼稚園での保育料以外の雑費分を安くしてほしい。	幼稚園のあり方については、今後検討していきます。 入園の取り扱いについて、妙高市と今後相談してまいります。 保育園等の募集については、毎年、広報で周知している。 ご意見を参考に検討する。 各園で実際にかかる金額を雑費分としており、減額は困難と考える。
			幼稚園通園バスの運行関係	教育総務課・学校教育課	すべての幼稚園がせめて送迎だけでも実施してくれると非常に助かります。 通園バスを無料にしてほしい。	私立幼稚園では、すべての園で送迎を実施している。 一定の受益者負担は必要であり、料金設定も妥当と考える。
			小児医療関係	健康づくり推進課	合併前上越市以外にも、小児科を作ってほしい。	市営診療所で小児科を標榜している診療所は4診療所であり、市内全体で小児科を標榜している開業医は29件(病院を除く)となっている。上越保健医療圏域別10万人当たり医師数は県平均を下回っており、さらに医師の地域偏在という状況もあることから、地域ごとの小児科の充足は難しい状況であり、現状維持としたい。
			歯科保健事業	健康づくり推進課	歯科検診時の感染対策をしっかりやってほしい。 (一行為ごとに手袋の交換を行っていないため、感染症が蔓延する恐れがある)	歯科健診やブラッシング指導及びフッ素塗布時には、一行為ごとに手指消毒を行い、手袋は適宜交換している。今後の感染予防対策については、歯科医師会の指導を仰ぎながら最善の方法に取り組んでいく。



基本目標	主要施策	No.	事業名等	担当課	自由記述	要望への対応
			奨学金貸付事業	学校教育課	将来の学費への不安	経済的な理由により修学が困難な学生・生徒に対して奨学金の貸し付けを行っている。
			子どもの日のパスポート	学校教育課	子どもの日のパスポートは、土曜日しか使えず、土曜日に仕事が入ってしまうと利用できません。 利用できる曜日を増やしてもらえると嬉しいです。	対象施設の利用料等の収入に影響を及ぼすことから、曜日を増やすことは考えていない。
			勤労者福祉施設管理運営費	産業振興課	三の輪台公園に遊具がほしい。	新規に設置する予定はない。
			科学館事業	生涯学習推進課	リージョンの外の公園は無料で利用できるようにしてほしい。	意見を参考として科学館の事業を検討する。
			水族博物館管理運営費	水族博物館	水族館の充実(古い、持ち込みでご飯を食べる場所)を増やしてほしい。 学校の代休がある時期などは、水族館を開館してほしい。 リージョンプラザや水族館など親の料金が大きく、毎週のように利用するのは無理がある。親だけでもフリーパスがあるとありがたいです。	新水族博物館の建設に向け、現在、協議を進めており、平成29年度の開館を予定している。 当館は平成27年度から横浜八景島が指定管理者として管理運営に当たるため、休館日についてもお客様サービスの面から変更も視野に入れ、引継ぎをしていく。 「年間パスポート」の利用促進 大人は2,500円で購入することができ、購入日から1年間、夏季特別展イルカショーを含め、何度でも入館できることとなっている。
			ごみ収集運搬事業(家庭ごみ有料化事業)	生活環境課	ゴミ袋の補助を充実してほしい。	指定ゴミ袋の引換券(3歳未満10%の指定袋と交換できる)については、使用されるおむつの大きさと量を考慮して交付している。
			市民税関係賦課事務費	税務課	子どもを扶養している家族は市民税を優遇してほしい。	市民税は、地方税法の規定に基づき賦課しており、要望事項にかかる優遇措置はない。
			女性相談事業(各種相談)	男女共同参画推進センター	配偶者と別居中で子供に接する時間がないこと 配偶者家族との付き合い方への不安	家庭・職場・人間関係など様々な悩みの相談について、市民プラザ2Fの女性相談窓口で、相談に応じている。
			都市公園整備事業	都市整備課	公園の遊具を充実してほしい。 土、日には外で沢山遊ばせたいが、遊具が少なかったりで子供たちが飽きてしまふ公園も遊具が古くなると処分はするが、新しいものを入れるでもなく、ただの空き地みたいに見える。 外で遊ぶ場所、環境についてはもう少し古い施設はメンテナンスしていただいたり遊具の見直し(リニューアル等)を検討いただきたいです。 子供が安全で楽しく自由に遊べる公園を増やしてほしい。 運動公園みたいな公園があると、のびのび遊ぶことができるので、大きく広い公園がほしい。 夏に、噴水などで水遊ぶができる公園があるといい。	都市公園施設長寿命化計画に基づき、H26から遊具の更新や計画定期修繕を実施している。 土地区画整理事業や民間開発で設置される公園以外の新たな都市公園の設置予定はないが、今年度、たにはま公園へ大型遊具の設置を予定している。 高田公園や五智公園、たにはま公園などの大きな公園の活用を周知する。 市内に12箇所あることもプールの活用を周知する。
			公園管理事業	都市整備課	春、雪が降らなくなったら公園のブランコを早く設置してほしい。 公園の環境がわるいので管理をもっとしっかりしてほしい。草、ゴミ、遊具等。 公園の遊具が壊れたまま何年も放置されている所が沢山ある。 高田公園にもっとアスレチックな遊具などを充実してほしい。	公園数が多く、全ての公園への設置は10日ほどかかってしまうが、現在も雪消えに合わせて順次、遊具の設置を行っている。 パークパートナーシップ事業や公園管理人が年4回程度の草刈りをはじめ、ごみ拾い、樹木管理等の維持管理を行っているが、公園美化については地域の協力も呼び掛けていく。 年3回の遊具点検を実施してその都度対応しており、壊れたまま放置している遊具はない。
			高田公園整備事業	都市整備課	高田公園にもっとアスレチックな遊具などを充実してほしい。	都市公園施設長寿命化計画に基づき、H26から遊具の更新や計画定期修繕を実施している。
			リージョンプラザ上越管理運営費	用地管財課	学校の代休がある時期などは、リージョンプラザを開館してほしい。 リージョンプラザや水族館など親の料金が大きく、毎週のように利用するのは無理がある。親だけでもフリーパスがあるとありがたいです。	リージョンプラザ上越では月曜日を休館日としているが、学校の代休日と必ず月曜日とは限らないことから、現在のところ変更する予定はない。 リージョンプラザ上越のプール、アイスアリーナ、インドアスタジアムの料金は他の類似施設と比べても安価な設定であり、施設を維持管理するために利用者負担をお願いするものであることから、現在のところ親のフリーパス運用は考えていない。
			屋内施設関係	こども課	子供を遊ばせることができる室内施設と室外施設が一緒になった施設がほしい。 お金を余りかけずに遊べる施設を作って欲しい。(柏崎のキッズマジックのよう無料、または低額で、安全で楽しく、遊びや体験ができる施設を増やしてほしい。 雨、雪の日でも遊べる屋内施設がほしい。 市民プラザ以外に、建物内で遊べる場所(長岡のてくてく、柏崎のキッズマジック、妙高市のわくわくランド)がほしい。 子供が遊びやすい、それなりの公園や、室内施設がほしいです。冬場は特に行き場に困るので。 子供がおもいきり遊べる屋内外の施設が少ないです。柏崎市のキッズマジックや国営越後丘陵公園の様な場所が上越市にも欲しいです。子供が一日楽しめる所に行く為に市外に行く事がない様になればいいなと思います。 新潟市のように大きな公園、遊具のたくさんある場所、屋内でも遊べる施設がもっとあるとありがたいです。 柏崎のキッズマジック、わくわくランド新井、東京おもちゃ美術館、東京ドームシティのアソボノのような施設を作って、親子でゆったり遊びたい。 雪の影響が大きいせいかな？上越市は子供が遊べる大型遊具がある公園がないので作っていただきたいです。また、雨天降雪時にも遊んだり学習したりできる複合施設があるといい。 高田公園内に建てる(仮称)厚生産業会館内のこども施設を充分検討して作っていただきたいです。子供たちを充分満足させられる遊具設備を要望します。	(仮称)厚生産業会館内のこども施設に年齢層に応じたプレイルームを整備する予定。
			産後ケア関係	健康づくり推進課	産後の体調が戻らない時に少し長く産婦人科で入院できる制度があるといい。	「産後ケア事業」は、新潟市や都心部においてモデル的に実施している。上越市では、里帰り出産で里帰り先で家族等の支援を受けている方がほとんどであるとともに、市内産科医療機関での退院後の支援が充実していることなどから、制度の導入は考えていない。また、産前・産後ヘルパー派遣事業を実施しており、産婦への支援は充実していると考えます。